

令和5年度の活動の振り返りと令和6年度の取り組みについて協議しました！

開催内容

※第1層：大崎市全域 第2層：地域自治組織単位

- ・生活動作アンケートの集計結果・分析について報告を行いました。
- ・令和5年度の活動報告及び令和6年度の取り組みについて協議を行いました。

生活動作アンケートの集計結果・分析

- ・大崎市全域及び地域別にサンプル数の差はあるものの、地域別の傾向を把握できた。
- ・動作を細かく分けて調査したことで、自助・互助・共助のいずれの形で解決に結びつけていくのかを考える材料になる。
- ・地域課題の解決に繋げていくためのアセスメントツールとして調査結果を活用をしていく。



令和5年度活動報告・令和6年度に向けた取り組みの協議

- ・生活支援体制整備事業の未実施地域に、令和6年度から大崎市社会福祉協議会へコーディネート業務を委託することに伴い、次年度からの体制整備事業の展開について、各地域のまちづくり協議会の役員会等で説明を行った。
- ・ワークショップの開催支援を通じて、第2層と関わらせていただいた。住民同士の支え合いはあるが、今後を考えると不安という意見があり、生活動作アンケート結果にも表れていると感じた。
- ・生活動作アンケートの結果を踏まえ、地域住民が地域のために「どうしたいか、何ができるか」を具体的に考えていくことに繋げていけると感じている。